

本庁舎等整備基本構想（素案）区民説明・意見交換会における意見・提案等と区の考え方

【世田谷地域（149件）】

分類	意見・提案等	区の考え方
全般（2件）		
全般	5,067名の職員の意識を区民として知りたい。	本庁舎等は、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点です。本庁舎等の整備にあたっては、今後も職員の意見も聴きながら、検討を進めてまいります。
	急ぐ課題は別にある。	災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、早期の整備の必要性があると考えております。本庁舎等の整備は多額の財政負担を伴う事業であることから、総事業費の抑制に努め、他の事業への影響が出ないよう財政計画を組み立ててまいります。
機能（1件）		
全般	変更が予想される本庁舎機能は？	区民交流、災害対策、窓口、ユニバーサルデザイン、環境など、様々な機能を拡充、強化してまいります。
区民交流（2件）		
全般	区民との協働とは、具体的に（？）	区内においては、町会・自治会やNPO、自主活動グループなど、区民による主体的な活動が区内の様々な場所で展開しております。本庁舎、総合支所、出張所・まちづくりセンターの三層構造も踏まえ、こうした多くの区民団体の情報共有、交流、そして区政への参画の場として、本庁舎等の整備を進めてまいります。
	協働：役所と区民の役割が明確でない、もっと具体的に。	
災害対策（17件）		
全般	防災拠点が十分果たせる機能庁舎	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えた、災害に強い庁舎を目指し、本庁舎等を整備してまいります。
	防災を最優先に。	
	地震・・・わかっていないことがたくさんある、想定外	
	発災したらデジタル不可　スペースを確保	
	区に頼りすぎでは？	区には、区民の生命、身体及び財産を災害から保護するという重大な責務が課せられており、災害時には、世田谷区地域防災計画に基づき、本庁舎に災害対策本部を設置し、災対地域本部となる総合支所、拠点隊となるまちづくりセンターと連携を図るとともに、防災関係機関及び区民等の協力を得て、全力を挙げて災害応急対策に努めてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	庁舎で備蓄する災対物資の規模は？... 人分、 日分	平成24年に東京都防災会議が発表した東京の被害想定では、世田谷区における避難所生活者数は約16万人となっております。 世田谷区役所は、災害対策本部となっており、避難所に位置づけられていないため、避難所生活者のための備蓄はありませんが、区では、避難所生活者のための約1日分の食料等が、各避難所に設置してある避難所運営用倉庫及び避難所運営用倉庫を補完している広域用防災倉庫に備蓄しており、また、その後の食料等については、区内の協力協定団体からの調達物資や国や都からの支援物資により確保することとしております。 なお、本庁舎には、災害時に参集する非常配備態勢の職員分(災害対策本部指定職員分)の3日分を備蓄し、非常時の体制を構築しています。
	自前でどれ位用意できている？	
設備	区内だけでないバックアップ機能も！	区内事業者だけでなく、区外事業者や他自治体と災害時における協力協定等を結んでいます。今後とも、防災関係機関及び協力協定等を結んだ各事業者、自治体等の協力も得て、全力を挙げて災害応急対策に努めてまいります。
場所・動線	主要道路から入りこんだ場所に災害時の車、物資の搬入は無理があるのでは？ 避難何人	本庁舎周辺においては、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。また、災害時に、本庁舎が孤立した要塞とならないように、特定緊急輸送道路などとの関係を踏まえ、周辺とのネットワークや周辺の街づくりも視野に入れた整備を進めてまいります。
	災害時、周辺道路整備どう考えていますか？	
	周辺道路整備が必要。消防自動車は？	
	本庁舎の災害時の物資はどのように入ってくるのか？道路(ルート)の問題！	
	地震災害に対しては拠点は別途異なる場所を考えた方がよい	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。また、区役所に避難してきた区民を広域避難場所である隣接した国士舘大学に案内するためにも、一定の一時の滞留所が必要であり、広場機能は、非常に重要であります。一方、物資集積については、世田谷区民会館は、世田谷地域(5地域のうちの1つ)の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点となっており、ここから遅滞なく、地域の避難所に物資等を搬送していきます。災害時に求められるこのような機能が十分発揮できるよう、今後整備を進めてまいります。
分散	身近なところで助けてもらえるように	災害対策本部については、本部長、副本部長を中心とした災対各部と5つの総合支所に設置する災対地域本部、27まちづくりセンターに設置する拠点隊で構成されます。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めることとしています。
	5支所の災害本部をしっかりとしてほしい。	
	災害時は分散型ネットワークの方が効果があるのでは？	

分類	意見・提案等	区の考え方
その他	建物をきれいにする事と平行して組織も強くしてほしい。災害時、何名の職員が来て、どのような働きをするのか？	災害対策本部については、本部長、副本部長を中心とした災対各部と5つの総合支所に設置する災対地域本部、27まちづくりセンターに設置する拠点隊で構成され、全職員が参集することとなっております。 本庁には、災対統括部をはじめ、災対各部が設置され、防災関係機関等と連携しながら担任の事務をとり、災対地域本部、拠点隊から連絡される様々な情報を整理・分析し、適確に指令を出すとともに、各地区の被害状況に応じた支援を行いながら、災害応急対策活用を行うこととなります。災対地域本部については、各拠点隊への指示、支援、罹災証明等の発行、災害状況の情報収集、救援物資等の輸送、配付、物資集積場の管理等、地域における広範な事務を担います。拠点隊については、医療救護所の支援、地区に開設される避難所の支援、災害状況の情報収集などの事務を担います。
区民利用(11件)		
全般	駅からの案内を「みどり・エコ」のイメージを示す。 庁舎訪問者が迷わない案内図を数多く設置したい。	基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、利用しやすい移動空間や設備の整備を進めてまいります。
UD等	わかりやすい庁舎(例)どこにいけば できるといったもの。 聴障者用情報保障システム 災害時の障害者対策、情報保障 書くことが不得意な人がいる。 磁気誘導ループがあるとよい。 設置の手話通訳者は開所全時間帯必要と思う(今はAMのみ)。	基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、利用しやすい移動空間や設備の整備を進めてまいります。
窓口	ゆったりした設計、申請業務等でストレスのない。 ワンストップサービスの実現を	基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、総合案内を設けるなど窓口機能等の充実を図ってまいります。
施設	機能について:区民がグループで自由に集まって話し合いができるよう、市民室のような室が欲しい。	基本の方針1で掲げた「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を目指し、区民同士の交流、国際交流、国内交流の場として、様々な利用に対応できる空間を整備してまいります。
環境(7件)		
全般	環境性能の具体的目標は? ZEB法の受け止め方は?	建築環境総合性能評価システム(CASBEE)に基づくSランクの達成を視野に入れた設計を行うなど、総合的に環境品質の高い庁舎とするとともに、今後の技術開発の動向等を注視しながら、検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
みどり	本庁舎の機能を充実すればする程、「世田谷みどり33」のスペースをどう確保するのか？自然への配慮をどうするか、「生物多様性」の点から考えたい。	「世田谷みどり33」の趣旨を踏まえた緑化を行うこととしており、積極的に緑化に取り組んでまいります。また、脱炭素の達成に向け、省エネルギー化を図るとともに、自然の恵みの積極的利用とエネルギーの有効活用を図ってまいります。
	水のある風景、あそべる。	建物の壁面・屋上などの施設緑化や広場・緑地の植栽の一体的な計画など、周辺環境に配慮した整備を行ってまいります。
周辺環境	隣接地のオーナーとの利害調整(基本は現状維持)	建物の高さや日影の影響、圧迫感、さらには施設に起因する風害、光害、騒音・振動、電波障害等の極力の防止を図るよう、周辺環境に十分配慮した計画とすることとしており、今後、配置計画を検討していく中で、具体的な検証をしております。なお、近隣にお住まいの方へは、今後も丁寧にご説明してまいります。
	工事の騒音考慮を。	
	工事・建築に際し、近くに住んでいるので日照権、その他の問題が出てくるのを心配している。	
	以前、ノバビル工事の時、ブロックベイにたくさんヒビが入った。証拠がないとのことと責任を認められなかった。工事の振動で問題が起きることを心配しています。	
区民会館(9件)		
全般	成城ホールの例として、一般の方のトイレでも障害者(車イス)の方も使用できると説明があったが、実際は狭くて使用できなかった。	成城ホールにおきましては、一般の方用のトイレの入口の前に、だれでもトイレ(車いす使用者用)を設置しておりますので、車いす使用者の方へは、だれでもトイレをご案内しております。
	他は狭い。成城ホールも400程度。	世田谷区民会館ホールは世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷区の全区的集会機能も併せ持っており、現在の利用状況を踏まえ、800席から1,000席規模の多目的ホールを想定しています。
	現状でも狭い(足りていないのに)	
	区民会館の規模を縮小すると聞いたが、子供が増えている、他の区立ホールが小さい、ので現状通りとしてほしい。	世田谷区民会館については、本庁舎と全区的集会施設が同敷地内にあるという歴史的経緯等を踏まえ、現在地で整備することとしています。同区民会館は、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っており、ホールは、現在の利用状況を踏まえ、800席から1000席規模の多目的に使えるホールとして、整備することを想定しています。
区民会館ホール:区民交流の場であり、専用性は難しい。	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っており、ホールは、多様な区民活動として活用できるホールとして整備してまいります。	

分類	意見・提案等	区の方考え方
音楽ホール	区民会館...多目的ホールにする理由はわかるが、できたら音楽的にすくれたホールを作ってほしい。	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。
	区民会館について、海外姉妹都市の音楽団体にはずかしくない設備	
	区民会館について：めぐるパーシモンホール程度のホールを実現できないか。 ・多目的は？ / 交流 etc. / 優先順位を決めて(防災は必要)世田谷全体	
	区民会館について：客席 1,000～1,100人、楽屋(リハーサル)にピアノ、天井からの吊りマイク、舞台、現状より広く150～180名の合唱に対応	
規模(13件)		
規模	利用者としては長く建物の中に居るのではないので、現状でも狭いとか気にならない。	働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。
	30年後の住人の人口減も考慮に入っていますか？	人口については、今後、平成52年に100万人を超えるという推計がある一方、85万人を下回るという推計もあり、規模の算定にあたっては、現在の人口規模89万人を前提とします。また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。
	区行政合理化と将来の人口、年齢構成をどのように考えているか？	
	職員の増加率、働き方の変化、単純に面積を出している？	職員数については、地域行政を一層展開する観点(減要素)と、新たな政策展開、自治権拡充の観点(増要素)を総合的に考慮し、平成28年度当初の本庁舎及び関連施設に配置されている職員数を基本に規模を想定しております。また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。
	区職員数削減の見込みは？	
	古くなって仕事スペースが狭くなっているのはわかりますが、本当にこれだけの人が必要なのか。けっこう暇な時間部署もあるように見受けられるし、来庁者があふれているとも思えないから広くする必要あるのか。	
	人口・業務・容量は？将来は？増・減・変化は？	
	将来的に人口は減る、ITの発達により在宅勤務が可能 大きな施設は不要。	
区人口の増加と仕事量、職員数を今後どのように見込んでいるのか。		

分類	意見・提案等	区の考え方
規模	職員1人あたり面積を他区との比較で考える論拠は？	あくまで参考として比較したものであり、他区との面積比較により面積を算定したわけではありません。また、庁舎については、窓口機能や待合スペース、区民利用スペースなど、民間とは異なる特殊な機能を多く持っているため、参考ではありますが、他区の庁舎と比較させていただきました。
働き方	1つのテーブルではない、m ² /1人ではない…オープンスペース 電子化(ペーパーレス化) 働き方の調査 スペースの合理的使い方を研究すべき	働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。
	働き方の変化もあるのでは？	
	現在の11m ² /人がなぜ悪いのか？書類が整理されていないのでは…。	ペーパーレス化への取組みを推進し、文書の徹底した電子化により文書保管量のスリム化を図るなどしたうえで、必要な保管スペースを確保してまいります。
地域行政(2件)		
支所充実	庁舎を分散させる考え方はないか？通信技術は発展している。	世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。こうした地域行政の理念、新たな政策展開や自治権拡充の観点を総合的に勘案し、本庁舎規模を想定したところで
世田谷支所	世田谷支所は三軒茶屋あたりがありがたい。理由：下馬6丁目あたりは来ることができない。1人当たりの面積を確保できる。	世田谷総合支所については、区民の利便性向上の観点から、交通至便な三軒茶屋を候補地として、移転整備に向けて、適地を有する事業者と協議を重ねてまいりましたが、その実現には、コストや人員面で課題が大きいことから、世田谷総合支所は、現在の本庁舎敷地内に整備することとしました。

分類	意見・提案等	区の考え方
場所(4件)		
場所	基本的に当地は住宅地であり、当地での大きな建物の建設は反対。何故ここか？	本庁舎の場所については、平成21年にいただいた本庁舎等整備審議会答申において、「場所については、歴史的な経緯等から現在の敷地が望ましい。しかし、交通の利便性等から移転の可能性について、今後、検討が必要である。」とされたのを受け、さらに、移転の可能性について、交通の利便性、周辺環境との調和、災害対策本部としての適性等の観点から検討してきましたが、用地取得や用途地域等の関係で、現在地以外に望ましい場所を見出すことはできず、現在地とすることとしました。 なお、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。
	現在地整備はコスト高。移転候補地が見つからなかった理由は？	
	現庁舎の場所はとてもよい。水害の心配がない。最近では降雨災害が多い。	ご指摘のとおり、世田谷区役所敷地については、洪水予想区域にはなっておりません(世田谷区洪水ハザードマップより)。今後、現在地での整備を前提に、事業を進めてまいります。
	公園の一部を活用することができないか？	本庁舎の場所については、平成21年にいただいた本庁舎等整備審議会答申において、「場所については、歴史的な経緯等から現在の敷地が望ましい。しかし、交通の利便性等から移転の可能性について、今後、検討が必要である。」とされたのを受け、さらに、移転の可能性について、交通の利便性、周辺環境との調和、災害対策本部としての適性等の観点から検討してきましたが、用地取得や用途地域等の関係で、現在地以外に望ましい場所を見出すことはできず、現在地とすることとしました。
敷地利用(11件)		
敷地利用	敷地面積と高さ制限で必要とする56,000㎡は確保できるか？	現敷地内で、求めている規模の庁舎は建設可能です。
	現在の区役所の土地内で建つのでしょうか。隣接する住民が立ち退きを求められることはあるのでしょうか。	現敷地内で、求めている規模の庁舎は建設可能です。補助154号線の整備により、動線も新たな視点から検討することが可能となっていることから、敷地西側の利用も視野に入れアプローチの位置等について計画することとしており、現在の西側敷地と補助154号線のアクセスについては、敷地の拡張も視野に入れながら検討してまいります。
	仮庁舎はどの辺を予定されているか？	本庁舎等の整備にあたっては、敷地内で機能を継続させながら工事を進めていく必要があります。区役所の機能を維持しながら、近隣への影響を最小限に抑え、段階的な工事を安全かつ円滑に行うとともに、工期短縮につながるよう、区役所周辺において、可能な範囲で仮設庁舎や駐車場として活用できる用地等の確保を行ってまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
敷地利用	工事期間中の行政事務はどこで？(一時移転？)	同上
	敷地外の用地を資材置場や工事事務所にする可能性は？	
	地下工事の概要は？	工事の概要につきましては、今後、設計者からの提案を受けて決定していく配置計画等に基づき、詳細を検討していくこととなります。 なお、地下については、駐車場等のほか、庁舎機能の一部(機械室、倉庫、会議室、更衣室など)の配置を見込んでおります。
駐車場	駐車場に長い列ができて、と言っていたが、それは一時的な時間だけで、あとはゆとりがあると思います。全て待ち時間のない駐車場はありえないからピークを考えての広さは必要ないと思う。	利用実態を調査したところ、調査日における最大駐車待ち台数は、13台であり、繁忙期にはさらに待ち台数が増えることも想定されるため、現在の計画では、約80台程度(現状53台)の来庁者用駐車場を整備することとしております。いただいたご意見も参考にしながら、今後、さらに精査してまいります。
道路	道路の位置を早く決めないと設計にも反映できないのでは？	道路を廃止した場合、日影規制や容積率を敷地一体で考えることができます。敷地が一体となり設計の自由度が高まるなどの効果がある反面、配置計画によっては平均地盤面により、東側敷地の日影規制が実質厳しくなるなどの面もあります。また、廃止する場合、近隣住民の理解が不可欠であることや都市計画の変更等による手続きに時間を要することから、事業スケジュールが数年延長される可能性があります。これらのことを踏まえ、今後、検討を深めてまいります。廃道が困難である場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。
	中央の道は緑道にしてほしい。(災害時には使用できるように) 地下を有効活用できるのでは	
	機能が決まらないと道路の必要も決まらない	
	間の区道はこのまま活用してほしい。154号線の渋滞がひどすぎるので。	

分類	意見・提案等	区の考え方
建物(41件)		
全般	「見てくれ」、外観の視点も大事	<p>現在策定を進めております「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、区民自治と交流や災害対策の拠点としての庁舎や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価し、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。</p>
	欠けている視点があります。それは「見てくれ」=外観です。	
	外観の重要性、東京都内のモデル区民館にするためのアイデア/プランが必要と思う。	
	サインに至るまでデザインにこだわる	
	景観のリーダー役に	
	景観を整備するためのリーダー役になってもらいたい。	
	設計イメージ:世田谷ブランドを示す。…みどり、住みやすい	
	世田谷という地域の特性をどう建築デザインにおきかえるのか、土地の魅力を取りこむ。	
	機能のことはよくわかりましたが、世田谷の文化度も考えて下さい 世田谷ブランド「ホコリ」を引き継ぐ 建築家の話も聞こう!	
	どこにでもあるものになっても残念	
外から来た人に自慢できる		
近隣としては、窓ベニヤの姿をみると心配	<p>いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、なるべく早く災害対策機能を強化した庁舎となるよう、今後、基本構想の中でお示したスケジュールに基づき、着実に取り組んでまいります。また、工事につきましても、可能な限り2期工事、5年程度で終了するよう、民間の技術も活用しながら、工期短縮に向けて様々な手法を検討してまいります。</p>	
新庁舎、何年利用?寿命 めざせ100年!!	<p>21世紀半ばを長期にわたり世田谷区政を支える拠点であることから、可能な限り長期間にわたり使用できる庁舎となるよう努めてまいります。</p>	
改装しやすく作る。将来機能変更に対応。 はたらき方も変化していくかもしれない 仕事の書類が各人の机のまわりに積むスタイルはセキュリティ的にも問題	<p>将来の行政ニーズや行政組織の変更に対応し、可能な限り長期間にわたり使用できる庁舎となるよう、スケルトン・インフィル(躯体と内部を分離し、内部の変更に柔軟に対応できる方法)の考え方などを参考にした設計や工法などの採用を検討することとしております。</p>	
スケルトン・インフィルのような将来の機能にフレキシブルな考えが必要。		
今の庁舎はすべて建て直すのですか?	<p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>なお、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保と最も合理的な事業計画(コスト削減、工期短縮等)が可能であれば、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	メンテナンスが悪い、現状は。	限られた予算の中で、施設の維持管理に努めているところですが、第1庁舎、世田谷区民会館は築50年以上経過しており、躯体や外装・内装の劣化が進むとともに、省エネルギーやバリアフリー化等への対応を考える必要がある状況となっています。
	分庁舎が現在うまく機能しているのであれば、本庁にまとめなくても良いのでは？	本来、本庁舎にあるべき機能が、狭あい化により複数の建物に分散しており、関係部署間の連絡などの面で行政事務機能の非効率化を招くとともに、来庁する区民や事業者にとって分かりづらく、利用しにくい庁舎となっております。このため、本庁舎等整備につきましては、本庁舎敷地外にある本庁舎関連施設について、原則、本庁舎へ集約することとしています。
	借りてもコストがかかる	
改築	前川建築にこだわる必要はない！それを超えるものを目指せばよい。	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
	前川の建物を残さないとしても、他と違う、世田谷区としてすばらしい建物(ブランド)を計画すればよい。 建築に表現する	

分類	意見・提案等	区の考え方
空間特質	設計の哲学がほしい	現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。
	都市が重なると味わいになる(日比谷公園、レンガ、みどりとレンガが調和)考え方を残す？	本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。 整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。
	空間特質って何？	さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。 具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。 例えば、来庁者に圧迫感を与えない建物の形状や、建物の表情を与える屋外テラス、また、利用者の動線に配慮したピロティや区民の憩いの場となっている広場、さらにケヤキ並木と建物が創り出す風景などの特徴が空間特質として挙げられます。
保存	設計者への条件(説明)に、前川建築を残す案を入れるように伝えるのですか？	現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。
	この案件が出た時と違い、現在ではル・コルビュジエの作品が見直されてきているので、建築物を生かして欲しい。	本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。
	庁舎を保存するか否か、区民投票などで区民に問えないか？区議会選挙で問えないか？	整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。
	現庁舎の設計者:前川國男氏 遺跡として残すとの話はなくなったのか？良さを区民が共有する	さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしており
	現庁舎の保存はどうするか？(文化財として)	
	前川先生:残す可能性について、プロポに与条件として入れる。	
	弘前にある前川建築は地域の財産と考えているが、世田谷区は？	

分類	意見・提案等	区の考え方
		<p>ます。 具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
保存	<p>CO2は建てかえるより中を作り直すことで98%ダウン、お金は110億円安くなる。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>ご意見にある数字は、必要な規模、機能等の与条件や法的な課題等を満たす計画か不明ですが、コストやCO2の排出量は、解体・建設時のみならず運用管理段階も含め、ライフサイクルで削減できるよう検討することが必要と考えております。</p>
改修	<p>税務署が解体された時、ネズミの被害がひどかったので補強がよいと思います。</p>	<p>工事にあたっては、ねずみの駆除を行うなど配慮してまいります。</p>
高さ	<p>周辺の高さの認識の違いあり。 高さと安全はどうなるのか。 建物の高さについて...現行法規制/56,100㎡を実現するための最低限の高さは？ 規模からすると高層？環境から考えると低層。 計画規模だと10階程度になるのでは？</p>	<p>建物の高さについては、周辺の建物の高さも踏まえ、周辺環境との調和に配慮したものとします。なお、圧迫感などに配慮した配置にするとともに、中高層部のセットバックによる圧迫感の抑制などの工夫を施すこととしており、具体的な配置や高さについては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
配置	まことに個人的で申し訳ありませんが、住宅のある南側に高い建物は建ててほしくないです。日があたらなくなります。何年も何十年もである事を考えていただきたい。	具体的な配置や構成につきましては、基本構想における求められる機能や規模を確保することを前提に、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。また、建物の高さや日影の影響、圧迫感、さらには施設に起因する風害、光害、騒音・振動、電波障害等の極力の防止を図るよう、周辺環境に十分配慮した計画とすることとしており、今後、配置計画を検討していく中で、具体的な検証をしてまいります。なお、近隣にお住まいの方へは、今後も丁寧にご説明してまいります。
	(西敷地北西側住宅地について)低いのでそこを考慮して	
	庁舎をまとめることにより、なお一層の区民サービスを望む(スピーディに)。	
広場(5件)		
広場	緑、水のあるゆったりできる広場	イベント会場や区民の憩いの場として利用できるとともに、災害時には避難者の一時集会所や、緊急・復旧車両の駐車並びに物資の荷捌きスペースとなる広場を確保してまいります。具体的な計画等につきましては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。
	広場について・・・災害時利用に留まらない、用途の具体化が必要	
	子育て世代、イベントによく使われているピロティ・木・水 今感じている魅力をいかして考えて欲しい	
	広場(中庭=パティオ)を大切にしたい	
	中庭で踊っている若者、散歩する人、のんびりしている人がいてとてもいい感じなので中庭は欲しい(自転車も進入禁止にして)	
事業計画(24件)		
事業者選定	事業者選定の公平性を保てるのか？	設計者の選定にあたっては、プロポーザル方式によることとしており、発注者側の意図に柔軟に対応することが可能で、区民の意見等を十分に反映させるための区民協働の考えを取り入れた対応の提案を重視するとともに、施工面の難易度が高いことも考慮して、施工計画や工程計画等の対応能力・方策も重点評価項目とし、透明性、公開性に配慮したプロポーザルの企画検討を行ってまいります。具体的な選定方法につきましては、今後設置する設計者審査委員会等で検討してまいります。
	業者選定の公平性の担保は？	
	プロポーザルではなく、コンペでよいのでは？	

分類	意見・提案等	区の考え方
事業方式	設計・施工を管理するコンサルが必要。設計、管理を一括して発注すべき。	設計・施工を発注者側の視点で管理する業務として、コンストラクション・マネジメント業務がありますが、今後、他自治体の事例等も参考に、検討させていただきます。発注単位につきましては、いただいたご意見も参考にしながら、さらに検討を深めてまいります。
スケジュール	実施スケジュールの前倒しを	いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、なるべく早く災害対策機能を強化した庁舎となるよう、今後、基本構想の中でお示したスケジュールに基づき、着実に取り組んでまいります。また、工事につきましても、可能な限り2期工事、5年程度で終了するよう、民間の技術も活用しながら、工期短縮に向けて様々な手法を検討してまいります。
	完成時期の短縮化	
	事業計画：工期がもっと短縮できないか。	
	工期の短縮を計って頂くことを希望(今日迄建て直しをされなかった主な理由)	
	工事開始は2023年以降とすべき 建設費の最小化が必要	現段階では、今般お示したスケジュールは東京オリンピック・パラリンピックへのインフラ整備などによる工事費高騰のピークにはあたらないと想定しています。いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、なるべく早く災害対策機能を強化した庁舎となるよう、今後、基本構想の中でお示したスケジュールに基づき、着実に取り組んでまいります。ただし、今後も工事費の動向を注視し、負担の少なくなるよう検討を進めてまいります。
進め方	新しい庁舎がどのようなプロセスで作られていくのか気になる。	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまで、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。
	今後の決定プロセスも区民にわかりやすく進めてほしい 情報を示してほしい	
	区民の意見をしっかりと反映、一本化してほしい。	
	将来区を担う人の意見も聞くべき	
	若い人の声も	
	近辺の小学校の改築でも途中で意見が言えなくなった 区民意見をどの様に取り入れるのか？無計画では混乱する。	
予算	財源と事業予算(ムダにならないような使い方)	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。なお、基本構想段階における事業費については、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。
	起債枠は大丈夫？	基金と起債をバランスよく活用することで、一般財源の負担を軽減する財政計画を組み立てていく必要があり、今後、事業手法と事業費の確定にあわせて、さらに精査してまいります。また、各種補助金や寄附の活用、税外収入の確保が可能な仕組みについても検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
予算	財源410億円なら各種補助金は不要？	同上
	税収減・人口減になるのでコストを抑えて	人口については、今後、平成52年に100万人を超えるという推計がある一方、85万人を下回るという推計もあり、規模の算定にあたっては、現在の人口規模89万人を前提とします。 基金と起債をバランスよく活用することで、一般財源の負担を軽減する財政計画を組み立てていく必要があり、今後、事業手法と事業費の確定にあわせて、さらに精査してまいります。
	これから子供が減る、人口も減る、世田谷の税金はふるさと納税にとられる。できるだけ安く案を作ってほしい。	基金と起債をバランスよく活用することで、一般財源の負担を軽減する財政計画を組み立てていく必要があり、今後、事業手法と事業費の確定にあわせて、さらに精査してまいります。また、各種補助金や寄附の活用、税外収入の確保が可能な仕組みについても検討してまいります。
	計画の事業費無理と思うが？備品入っているのか？歴史、環境をなるべく残してほしい。	基本構想段階における事業費については、備品については含まれておらず、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。
	備品費を考慮すべき。 事業による予想される経済効果は？ 区内業者/区へのリターン	税外収入の確保が可能な仕組みなどについて、今後、検討してまいります。また、事業者の選定にあたっては、透明性・客観性の確保、区民・区議会の意向の反映、地域経済への配慮などを総合的に考慮し、検討してまいります。

【北沢地域（71件）】

分類	意見・提案等	区の考え方
全般(5件)		
全般	区の業務のIT化ロボット化に対する配慮することが抜けている	将来を見据えた行政組織改革のあり方を踏まえ、基礎的自治体の事業展開にふさわしい、機能的・効率的で柔軟性の高い計画としてまいります。同時に、新たな時代に適した職員の働き方の改革にもあわせて取り組んでまいります。
	区民の区との間のコミュニケーションのIT化ロボット化に関する配慮が欠けている	
	世田谷区の10年後や20年後はどうなるのかな…。	
	本庁舎の基本的機能と区民の利用度(1区民が本庁舎に出かける必要はゼロに近い)。	本庁舎内では、区としての政策方針、計画などの全区的な統括を基本に専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等を扱うとともに、住民票や戸籍等の交付、子育てや介護関係の相談や都市整備関係の相談や手続など、様々な事務を扱っております。
防災機能は理解するが、日常使用利便性を損なうのは疑問？	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えた、災害に強い庁舎を目指し、本庁舎等を整備してまいります。また、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎を目指し、日常の利便性にも配慮した計画を検討してまいります。	
区民交流(1件)		
全般	区役所を交流の場として活用しやすくしてほしい。中を回るだけでも楽しめる場があれば面白い。	区内においては、町会・自治会やNPO、自主活動グループなど、区民による主体的な活動が区内の様々な場所で展開しております。本庁舎、総合支所、出張所・まちづくりセンターの三層構造も踏まえ、こうした多くの区民団体の情報共有、交流、そして区政への参画の場として、本庁舎等の整備を進めてまいります。
区民利用(7件)		
UD等	建物周辺のUDはぜひお願いします。その時は障害者本人の意見をとり入れるように。	基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、屋外空間含め、利用しやすい移動空間や設備の整備を進めてまいります。また、検討にあたっては、ユニバーサルデザインに取り組むアドバイザー等の人々の活用も検討してまいります。
窓口	手続の際に椅子に座って対応できると良いのではないのでしょうか。	基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、総合案内を設けるなど窓口機能等の充実を図ってまいります。
	たらい回しがないように。	
	総合案内が水準高く。	

分類	意見・提案等	区の考え方
窓口	役所の中に何でも相談できる場所を!!まわされて時間がかかること、解決にならないことが多い。	同上
施設	区民が利用できる会議室ができたらうれしい。	基本的方針1で掲げた「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を目指し、区民に親しまれる庁舎を目指してまいります。なお、具体的な区民の利用スペース等の内容については、いただいたご意見も参考にしながら、必要な規模、コストなどを考慮し、今後、詳細を検討してまいります。
	一時保育場所があると良いのではないのでしょうか。	誰もが利用しやすいよう手続きにこられた際の待合い空間の充実を図り、子ども連れの方も安心して利用できるように、キッズスペースや授乳室などを設置することとしております。今後、これらの方針をもとに、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。
施設(1件)		
全般	1Fの一番良いところは区民のために	区民の移動距離を短くし、分かりやすく便利な窓口とするため、窓口機能をできる限り低層階に集め、利用者ニーズや手続等の関連性が高い窓口はできるだけ同一フロアに配置することとしています。
環境(5件)		
全般	ソーラー、屋上緑化	環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、今後の環境分野の技術開発の動向等を注視しつつ、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。
	地下水を冷暖房に利用する	
みどり	世田谷みどり33にご配慮を。	「世田谷みどり33」の趣旨を踏まえた緑化を行うこととしており、積極的に緑化に取り組んでまいります。また、脱炭素の達成に向け、省エネルギー化を図るとともに、自然の恵みの積極的利用とエネルギーの有効活用を図ってまいります。
	みどりを増やす。反対する人はいないだろう。	
	生き物につながる世田谷プランにご配慮を。	
区民会館(8件)		
全般	客席数(現1250)の確保 庁舎と会館の一体開発	世田谷区民会館については、本庁舎と全区的集會施設が同敷地内にあるという歴史的経緯等を踏まえ、現在地で整備することとしています。同区民会館は、世田谷地域の集會施設であるとともに、世田谷の全区的な集會機能も併せ持っており、ホールは、現在の利用状況を踏まえ、800席から1000席規模の多目的に使えるホールとして、整備することを想定しています。

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	文化都市…催しもの、合唱…縮小しないで!!	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。
	音楽ホールが無い世田谷区	
	区民会館(音楽ホール)についての要望… 所要人数、音響効果、パイプオルガン・ピアノ等、楽屋… 渋谷オーチャードホール、文京シビックホール	
	本格派のホールを!!…例)文京区、目黒区パーシモン、杉並区セミオン、渋谷オーチャード	
	文化都市として自信を持てるような区民会館としたい。	
	1昨年来、音楽団体として要望を提出してきたが反映されていない。	
音響効果確保 一部可動席は NG	多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。	
地域行政(2件)		
支所充実	5支所への分散を効果的に進めて規模の適正化を再検討すべき。	世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。 本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。 今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。 こうした地域行政の理念、新たな政策展開や自治権拡充の観点を総合的に勘案し、本庁舎規模を想定したところ です。
	本庁舎と5出張所の総合的な役割り(出張所の方がはるかに利用度高い)。	

分類	意見・提案等	区の考え方
場所(4件)		
交通アクセス	公共交通を増やしてほしい	現在の場所については、区を中心部に立地しており、下北沢や二子玉川等の主要な鉄道駅からのアクセスに課題はあるものの、最寄駅である世田谷線の世田谷駅または松陰神社前駅から徒歩5分で、路線バスも整備されており、世田谷区全域でみると、比較的アクセスは良好な場所だと考えております。また、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。
	区役所はとても行きにくい場所にある ミニバス(交通アクセス)	路線バスについては、現在の路線と同数である降車場1、乗車場3の計4台分の大型バス用のバスベイを東側道路(世区街5号)に沿って配置することとしております。なお、等々力操車所 - 梅ヶ丘駅間の路線バスについても、平成29年1月の本格運行に向けて現在協議中です。
	バス・タクシーの導線について、区役所側1ヶ所ということは現状の路線は迂回させる感じになるのでしょうか。また、154号線側にも乗降スペースは設けないのでしょうか。	ご指摘のとおり、現在「世田谷区民会館」を起終点とするバス路線は、折り返さずに第1庁舎に沿って左折し、補助154号線へ迂回させることを想定しております。また、補助154号線側については、道路の形状や幅員、区役所敷地の接道等の関係で、現状ではバス乗降スペースを設けることは困難であると考えられます。
場所	他の土地に移転は？金額が安くなるのでは？	本庁舎の場所については、平成21年にいただいた本庁舎等整備審議会答申において、「場所については、歴史的な経緯等から現在の敷地が望ましい。しかし、交通の利便性等から移転の可能性について、今後、検討が必要である。」とされたのを受け、さらに、移転の可能性について、交通の利便性、周辺環境との調和、災害対策本部としての適性等の観点から検討してきましたが、用地取得や用途地域等の関係で、現在地以外に望ましい場所を見出すことはできず、現在地とすることとしました。
敷地利用(7件)		
敷地利用	仮庁舎なども検討した方が良いと思う。施工中に業務に支障がなければ良いが、区の規模を考えると、業務に支障が出るのは困る。	本庁舎等の整備にあたっては、敷地内で機能を継続させながら工事を進めていく必要があります。区役所の機能を維持しながら、近隣への影響を最小限に抑え、段階的な工事を安全かつ円滑に行うとともに、工期短縮につながるよう、区役所周辺において、可能な範囲で仮設庁舎や駐車場として活用できる用地等の確保を行ってまいります。
駐車場	地下に十分なP(駐車場)が必要では？	現在の計画では、約80台程度(現状53台)の来庁者用駐車場及び約300台程度(現状約230台)の来庁者用駐輪場を整備することとしております。
	P(駐車場)は100~120台ぐらいいるのではないか。	庁舎へのアプローチが分かりやすく、なるべく短くなるように配置や利用者動線に配慮してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
道路	災害時には車、普段は人・自転車はどうか。	道路を廃止した場合、日影規制や容積率を敷地一体で考えることができます。敷地が一体となり設計の自由度が高まるなどの効果がある反面、配置計画によっては平均地盤面により、東側敷地の日影規制が実質厳しくなるなどの面もあります。また、廃止する場合、近隣住民の理解が不可欠であることや都市計画の変更等による手続きに時間を要することから、事業スケジュールが数年延長される可能性があります。これらのことを踏まえ、今後、検討を深めてまいります。廃道が困難である場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。
	車を使う人のことも考える必要。	
	区道の拡張、植栽、まちなみを美しく、機能的に。	建物の壁面・屋上などの施設緑化や広場・緑地の植栽の一体的な計画など、周辺環境に配慮した整備を行ってまいります。
	南北区道があるため建物配置に制約を与えていると思う。区道をできるだけ西側に移設して庁舎敷地を広く確保した方がよいのではないか。	道路を西側に付け替える場合、第3庁舎にある災害対策本部機能は工事の第一段階で維持しなければならず、完成した東側敷地建物に機能移転後、新たな道路の整備となるため、東側敷地における建物配置の自由度が大幅に増すことはありません。今後、廃道が困難である場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。
建物(19件)		
全般	(議会機能・行政機能) 防災機能だけではない!! 少しおとなしすぎる!!	現在策定を進めております「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、区民自治と交流や災害対策の拠点としての庁舎や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価し、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。
	築年数どおり老朽化しているためか、建物に暗さを感じる。明るい雰囲気になればと思います。	
	区民から素晴らしい!と言われる庁舎を!	コンクリート造の建物の物理的な寿命については、様々な議論があり、一概には言えませんが、一般的には65年程度と言われております。しかし、適切なメンテナンスを行うことで、さらなる長寿命化も可能だと認識しております。いずれにしても、本庁舎等においては、求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承など、総合的に検討してまいります。
	本庁舎、区民会館の寿命と全面建て替えの時期?	
コンクリート造の寿命は?		

分類	意見・提案等	区の考え方
空間特質	区民会館のホール、階段の空間を受け継ぐ。なつかしい空間。	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
	今の建物のもつ「よさ」を残しつつ新しくする	

分類	意見・提案等	区の考え方
部分保存	<p>古い建物の一部を残した設計が可能であれば検討してほしい(丸の内のビルの例など)。</p> <hr/> <p>材料を残す / なつかしい空間 / 空間のよさを残す。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
保存	<p>前川建築を残すことを基本として、現庁舎の不足部分を加えていく方が良い。庁舎は事務所建築と同じではない。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
		評価してまいります。
高さ	わかりづらい。中層ぐらいでつくるのも手ではないか	建物の高さについては、周辺の建物の高さも踏まえ、周辺環境との調和に配慮したものとします。なお、圧迫感などに配慮した配置にするとともに、中高層部のセットバックによる圧迫感の抑制などの工夫を施すこととしており、具体的な配置や高さについては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。
配置	<p>わかりやすい(配置に)反対する人もいないだろう</p> <p>建物が分散しているのでわかりづらいです。普段は総合支所を利用しています。たまに来るのでよけいに感じます。</p> <p>分散している庁舎機能を1ヶ所にまとめる意義は大きいと思う。8階建て程度で1フロアーをできるだけ広く取った方がよい。</p> <p>機能的に近い場所にあるとよい。</p> <p>1つの建物 but 超高層×</p> <p>第一庁舎、第二庁舎、第三庁舎と足の便がよいように設計できるのか？</p> <p>本庁舎建替えなら分散している中高層化(となりの国土館大学の建物)にして、緑地面積(スペース)を確保できるのでは？勿論、周辺の調和を配慮しながら。</p> <p>1ヶ所の建物で回れるように</p>	具体的な配置や構成につきましては、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。また、基本的方針4で掲げた機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎を目指し、部署間の連携を考慮した執務空間の配置とし、同一部に属する課をできるだけ同一階に配置し、相互関連性の強い部署は、できるだけ近接した階・エリアに配置するなど職員の動線を短くし、効率的・効果的に業務が行えるよう配慮していきます。
広場(1件)		
広場	中庭の雰囲気とてもよい。	イベント会場や区民の憩いの場として利用できるとともに、災害時には避難者の一時集会所や、緊急・復旧車両の駐車並びに物資の荷捌きスペースとなる広場を確保してまいります。具体的な計画等につきましては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。
事業計画(9件)		
事業者選定	委員の方がまとめたものを区民参加で投票もよいのでは。	設計者の選定にあたっては、プロポーザル方式によることとしており、発注者側の意図に柔軟に対応することが可能で、区民の意見等を十分に反映させるための区民協働の考えを取り入れた対応の提案を重視するとともに、施工面の難易度が高いことも考慮して、施工計画や工程計画等の対応能力・方策も重点評価項目とし、透明性、公開性に配慮したプロポーザルの企画検討を行ってまいります。具体的な選定方法につきましては、今後設置する設計者審査委員会等で検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
事業方式	豊島区役所、渋谷区役所等の区役所高層化(70階建て)については検討されていると思いますが？	豊島区のような例は、土地の有効活用・高度利用による高容積開発を誘導可能な(余剰容積の確保が期待できる)地域であるのに対して、住宅地域内の世田谷区役所の立地条件では、同様の高容積開発の誘導は難しく、このような手法を採用する可能性は低いと考えています。 なお、現在地の絶対高さ制限は45mとなっており、さらに、日影規制や斜線規制による制限も受けることにより、概ね東側敷地の南側で11階、北側で4階、西側敷地の南側で5階、北側で4階までが限度となります。 今後、民間の技術を活用することで、工期短縮や総事業費の抑制などが期待できるため、様々な手法について検討してまいります。 また、例えば、先導的な環境対策を行う場合等に給付される国庫補助金をはじめとした各種補助金や寄付の活用など、活用可能な財源がないか引き続き研究し、区の財源負担を軽減できるよう検討していきます。
	民間との連携の検討は？	今後、民間の技術を活用することで、工期短縮や総事業費の抑制などが期待できるため、様々な手法について検討してまいります。
	着工を2020年以降とするのは的を得ていると思う。基本設計を設計事務所に委託するとしても、実施設計以降は多様な契約方式を検討する方がよいと思う。	実施設計以降の契約方式については、いただいたご意見も参考にしながら、さらに検討を深めてまいります。
進め方	庁舎整備に関する情報はすべてガラスバリでお願いします。	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまで、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。
	家族で話せるような進め方を。	
	従来の進め方は区側の考え方を押し付ける結果となっているのでないか。	
	意見をどのように反映したの？ガス抜き？	
予算	安くすましたい(中高層)	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。なお、基本構想段階における事業費については、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。
その他(2件)		
その他	区の説明に対する質問が許されないのは不当である	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
	北沢支所の一番良い場所にみんなが行くセクションを！	

【玉川地域(105件)】

分類	意見・提案等	区の考え方
全般(4件)		
全般	基本構想(素案)(案) 基本構想と進む前段階の素案以前に検討すべき内容が書かれていない。	今後の検討の参考とさせていただきます。
	区庁舎内が現在どのような仕事が行われているか不明 ex.窓口業務といってもいろいろあるはず。 執務のしくみ？	本庁舎内では、区としての政策方針、計画などの全区的な統括を基本に専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等を扱うとともに、住民票や戸籍等の交付、子育てや介護関係の相談や都市整備関係の相談や手続など、様々な事務を扱っております。
	P.13 3 (3)・(4)が重要と思うが、「これからの」が示されていない。	世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。 今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。 さらに、区民福祉の一層の向上を目指し、児童相談所の移管をはじめとして、区の自治権の拡充に取り組んでまいります。 また、三層構造を踏まえ、全区的な区民自治と協働・交流の拠点としての機能を果たすため、本庁舎等を整備してまいります。
	基本計画がない!!!	基本構想において、基本計画の内容を一部含んでおりますが、今後、設計者選定のプロセスの中で、さらに内容を精査し、設計条件を設定してまいります。
災害対策(12件)		
全般	他の区の方が近いので、避難 etc.は世田谷区に頼らなくてはいけないのか？	23区とは災害時相互協力・支援協定を、また隣接区市とは災害時応援協定を締結しており、応急対策全般や職員派遣等について相互に救援協力することになっております。
	防災拠点 工事中も機能を維持するのは大変そうだ。大丈夫か？	災害対策本部室等の災害関連機能については、工事期間中も現敷地内に継続させなければならないとしており、本庁舎等が何時も揺るぎない防災拠点(災害対応指令基地)として機能するよう、工事期間中に大規模災害が発生する可能性も想定した工期・工程としてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	集積所は狭すぎる？	物資集積について、国士館大学及び大蔵第二運動場が地域内輸送拠点となっており、そこから各地域の物資等の集積地及び配送拠点（各総合支所管内の区民会館）へ配送されていきます。そこで、各総合支所で仕分けされたものが、地域内の避難所へ配送されていくことになります。世田谷地域の物資集積地が世田谷区民会館となっており、国士館大学との連携や支所の職員配置などを考慮し、現在地が適当だと考えております。
	備蓄は近隣コンビニ etc.を活用（区が買い取る）期限が近くなったら。	今後の検討の参考とさせていただきます。
設備	電源等の確保	非常時の電源については、72時間以上連続運転可能な非常用発電設備や、自然エネルギー、コージェネレーションシステム、水素燃料電池などにより電源を多重化し、業務の継続能力を高めてまいります。電気設備の設置場所についても、いただいたご意見も参考にしながら、今後、検討してまいります。
	ヘリポートは？ 備蓄…コンビニも活用	本庁舎は、災害時に、災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えていなければなりません。今後、災害時に必要な諸室、設備等については、世田谷区地域防災計画との整合性、必要な規模、財政面などを考慮し、検討してまいります。
	非常時のアナウンス SNS の活用	災害時には、防災行政無線、広報車、区ホームページ、エフエム世田谷のほか、メール配信、ツイッター、緊急速報メール等、様々な媒体により情報を発信してまいります。
場所・動線	支所・本庁の交通の確保、砧公園の地下利用、区議の駐車場の有効利用	本庁舎周辺においては、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。また、災害時に、本庁舎が孤立した要塞とならないように、特定緊急輸送道路などとの関係を踏まえ、周辺とのネットワークや周辺の街づくりも視野に入れた整備を進めてまいります。
	大災害時に幹線道路が放置された車で一杯になる、火の海になる可能性がある、拠点にアクセスできるか。	
	区役所周辺地区は震災時に大きな被害が想定される地区、そこに防災拠点を設けてよいか。	
分散	災害時は支所を中心に対応した方が良く 本庁は軽く	災害対策本部については、本部長、副本部長を中心とした災対各部と5つの総合支所に設置する災対地域本部、27まちづくりセンターに設置する拠点隊で構成されます。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めることとしています。
	災害拠点は総合支所中心で宜しいのでは？	

分類	意見・提案等	区の考え方
執務環境(1件)		
全般	流用可能な機器、もったいない。CO2の削減。	執務環境の整備にあたっては、職員の働き方改革に取り組み、機能的・効率的で柔軟性の高いものとしていきます。職員の動線を短く、部署間の連携を考慮した配置、各課のコミュニケーションを図りやすくする、各課の働き方の特徴に合うレイアウトにするなど、職員の意見を聴きながら、様々な観点から検討してまいります。また、その際、費用は最小となるよう努めてまいります。
議会(1件)		
全般	議会棟の各種会議室の稼働率は？ 議会棟の稼働率	議会棟の会議室については、区の会議等にも利用されているところですが、具体的な議会機能等については、今後、区議会地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会等の議論を踏まえ、検討してまいります。
環境(3件)		
全般	災害時と中間季を考えて自然換気を考慮。	自然通風などの自然エネルギーを極力活用することとしており、今後、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。
	田園環境が必要ではないか。	基本理念として、「みどりに生まれ、歴史に育まれた空間の広がりの中で環境と調和し、環境性能が高く災害に強い庁舎」を掲げており、環境との調和のみならず、周辺環境に寄与できるよう配慮してまいります。
みどり	地下レストラン前の緑空間は残して欲しい(他の区庁舎には無い良さが)。	建物の壁面・屋上などの施設緑化や広場・緑地の植栽の一体的な計画など、周辺環境に配慮した整備を行ってまいります。
区民会館(15件)		
全般	区民会館施設の利用利便性、使用しやすい手段、エスカレーター設備・エレベーター設備の配置を。子供達への学習、小・中・高生徒への見学、学習への配慮した施設を(社会教育含む)。	ユニバーサルデザインの考え方に基づき、運営者も観客もすべての人が利用しやすい施設としてまいります。
	古い、使いにくい、稼働率悪い ホールを現状と同じ規模でお願いします。 現状と同規模でいい	世田谷区民会館については、本庁舎と全区的集会施設が同敷地内にあるという歴史的経緯等を踏まえ、現在地で整備することとしています。同区民会館は、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っており、ホールは、現在の利用状況を踏まえ、800席から1000席規模の多目的に使えるホールとして、整備することを想定しています。

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	今以下のホールになってほしくない!!(今の施設でもいい)	同上
	区民会館、音響効果、金がかかり過ぎ。	維持管理の容易性や費用対効果を十分に検証しながら、できる限り事業費の抑制に努めてまいります。
	区民会館・お金をかければキリがない！ かけすぎないように	
	区民会館建替中の区立中学校音楽発表会はどうなるのか。	世田谷区民会館については、工事期間中に使用できない期間が生じます。今後、休館期間の短縮等について検討するとともに、代替手法についても検討していくこととしていますが、現段階では、具体的な対応については検討中です。いずれにせよ、ご不便をおかけすることになりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。
	ホールが多目的ホールとなる事について、現在フルオーケストラが入れるホールですが、多目的になった場合、オケピットも可能ですか？	具体的な設備等については、今後、検討してまいります。
	多目的は無目的 交流の場	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。
音楽ホール	文化をうたう世田谷らしいものに	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	都の最大の人口の区にふさわしい音楽ホールはどのような物と考えているのか 世田谷区の子供達がオーケストラの鑑賞教室ができるような良い音楽ホールを作って欲しい	同上
その他	突出する必要はないので他都市との比較は必要	他自治体の事例なども参考にしながら、今後、さらに検討を進めてまいります。
	現ホールは当時先陣を切った	今後の検討の参考とさせていただきます。
	ホールは単独でもよいのでは？	本庁舎及び世田谷区民会館については、別の場所も含め検討してきましたが、現在地以外に望ましい場所を見出せなかったことや、本庁舎と区民会館が同敷地内にあるという歴史的経緯などを踏まえ、現在地で整備することとしました。
規模(9件)		
規模	今日の説明には人口減が想定されていない。	人口については、今後、平成52年に100万人を超えるという推計がある一方、85万人を下回るという推計もあり、規模の算定にあたっては、現在の人口規模89万人を前提とします。また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。 今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。
	将来の人口減少は考慮しませんか？	
	人口減少をどのくらい考慮しているのか？	
	将来見込まれる地方分散、人口減少などを踏まえ、事務所スペースの将来にわたる有効利用を考慮しているか。	
	職員1人当たりの面積は23区平均以上にする。本庁機能を集中するのではなく、できるだけスリムに。	
本庁舎の役割をハッキリさせないと必要な面積も出ないのでは？	世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。 本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。 今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。 こうした地域行政の理念、今後の自治権拡充の方向性、高齢福祉等新たな行政課題への対応等を総合的に勘案し、平成28年度当初の職員数を基本に、本庁舎の規模を想定したところです。	

分類	意見・提案等	区の考え方
規模	区民にとって最適なサービスが提供可能な施設の役割を明確にした上で、本庁舎に必要な面積にすべきではないか(本庁舎 - 総合支所 - 分庁舎 - まちづくりセンター)	同上
	P.34「具体的な内訳について設計段階で精査し、…」これは設計者が決まっていますか？	設計段階において、より具体的な施設計画を検討していく中で、面積についても精査してまいります。
働き方	職員の効率化、ペーパーレス、IT・OA の導入効果	将来を見据えた行政組織改革のあり方を踏まえ、基礎的自治体の事業展開にふさわしい、機能的・効率的で柔軟性の高い計画としてまいります。同時に、新たな時代に適した職員の働き方の改革にもあわせて取り組み、事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。
地域行政(6件)		
支所充実	機能分散を考えるべき	世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。
	本庁舎に行かない区民も多い。支所庁舎の機能、区全体の計画ききたい。	
	各支所の有効活用を考えるべき	
	支所、出張所、まちづくりセンターの機能強化	
	三層構造の中で支所の強化 - 災害対策を含めて本庁集中化で	
世田谷支所	世田谷総合支所は三軒茶屋の方が利便性が高いのでは？	世田谷総合支所については、区民の利便性向上の観点から、交通至便な三軒茶屋を候補地として、移転整備に向けて、適地を有する事業者と協議を重ねてまいりましたが、その実現には、コストや人員面で課題が大きいことから、世田谷総合支所は、現在の本庁舎敷地内に整備することとしました。

分類	意見・提案等	区の考え方
場所(2件)		
場所	現在地以外に望ましい場所はないとのことであるが、その他の候補地はどこで、採用されなかった理由は？	本庁舎の場所については、平成21年にいただいた本庁舎等整備審議会答申において、「場所については、歴史的な経緯等から現在の敷地が望ましい。しかし、交通の利便性等から移転の可能性について、今後、検討が必要である。」とされたのを受け、さらに、移転の可能性について、交通の利便性、周辺環境との調和、災害対策本部としての適性等の観点から検討してきましたが、用地取得や用途地域等の関係で、現在地以外に望ましい場所を見出すことはできず、現在地とすることとしました。 なお、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。
	現在地以外の敷地候補についての検討内容が不明。	
敷地利用(2件)		
敷地利用	敷地を拡充して区画整理にできないか？ 時間がかかる 事業継続/緊急性	いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、早期に本庁舎等の整備を進める必要があるため、現在の敷地を前提に事業を進めてまいりますが、現在の西側敷地と補助154号線のアクセスについては、敷地の拡張も視野に入れながら検討を進めてまいります。
	計画敷地の将来の拡充は見込んでいるか。	現敷地内で、求めている規模の庁舎は建設可能です。 補助154号線の整備により、動線も新たな視点から検討することが可能となっていることから、敷地西側の利用も視野に入れアプローチの位置等について計画することとしており、現在の西側敷地と補助154号線のアクセスについては、敷地の拡張も視野に入れながら検討してまいります。
建物(25件)		
全般	安普請はやめた方がよい。	21世紀半ばを長期にわたり世田谷区政を支える拠点であることから、可能な限り長期間にわたり使用できる庁舎となるよう努めてまいります。具体的な配置や構成につきましては、基本構想における求められる機能や規模を確保することを前提に、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。
	耐震基準は全ての棟は A・甲になるのか。意見として「すべき」。	本庁舎は、災害対策本部として、国土交通省が定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の最高水準である「構造体 類、非構造部材A類、建築設備甲類」を確保することを基本としています。
全般	50～100年ちゃんと使う。	21世紀半ばを長期にわたり世田谷区政を支える拠点であることから、可能な限り長期間にわたり使用できる庁舎となるよう努めてまいります。
	世田谷から独自のアイデアを大発信してほしい。100年後を目指して。	

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	整備基本構想 = 建替え？ 保存は全く想定していない？	<p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>なお、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保と最も合理的な事業計画（コスト削減、工期短縮等）が可能であれば、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p>
	残すか解体するかの前に、旧庁舎とホールをきちんと調査すべき。それでないとならぬ議論にならない。	具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定することとしており、現庁舎等を活用する場合には、改めて、詳細な調査が必要だと考えております。
	<p>第1庁舎と区民施設の耐震改修を耐震基準最高位で調査すべきと考えますが、壊したら何も残らないのでちゃんと把握すべき(もったいない)</p> <p>使えるものは使うことが大事</p> <p>庁舎の流用は可能なのか？ 建替えにおける/転用できる/資源も明確にすべき</p> <p>すべての棟:基準をひき上げることはできないか？</p>	
	事実を正確に伝えてほしい。	
改築	歴史的建造物としての扱いに賛否議論願いたい。美術館、博物館としての保存はよいが、行政サービス施設には不適切ではないか。デザイン重視となる建築家の作品は、区民サービスに妥当な/適切な建物か、検討願いたい。	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
改築	風景は残してひびわれている不安な状態より建て替えた方が良いと思う。	同上
空間特質	前川デザインの流れを守れるのか。	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
	時の流れの蓄積が世田谷の魅力になる。	
	現庁舎等の空間特質を継承していく なぜ必要か？	
保存	現庁舎を活用することで、「理念」の「歴史に育まれた空間」が生きるのでは？	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
		<p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
保存	<p>原風景を残す。…リノベーション、前庭、ケヤキ並木 区民目線で良さを確認する必要あり。 残した方がコスト安 現庁舎を残しながら再建</p>	<p>同上</p>
	<p>前川建築を使い続ける案のどこが悪いの？使い続ける案に100億が浮く案も出ている。 既存庁舎の改修+増築は専門家の試算で280億円ということだが？(区の試算と100億円違う)</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>ご意見にある数字は、必要な規模、機能等の与条件や法的な課題等を満たす計画が不明ですが、コストやCO2の排出量は、解体・建設時のみならず運用管理段階も含め、ライフサイクルで削減できるよう検討することが必要と考えております。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
改修	リノベーションについて十分研究したのか？	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
	第1庁舎、区民会館は耐震補強で良いのでは？	
高さ	高層ビルはもういない。	<p>建物の高さについては、周辺の建物の高さも踏まえ、周辺環境との調和に配慮したものとします。なお、圧迫感などに配慮した配置にするとともに、中高層部のセットバックによる圧迫感の抑制などの工夫を施すこととしており、具体的な配置や高さについては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。</p>
配置	広場も建物にする。第2・第3庁舎もまとめる。	<p>具体的な配置や構成につきましては、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。また、基本の方針4で掲げた機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎を目指し、部署間の連携を考慮した執務空間の配置とし、同一部に属する課をできるだけ同一階に配置し、相互関連性の強い部署は、できるだけ近接した階・エリアに配置するなど職員の実動線を短くし、効率的・効果的に業務が行えるよう配慮してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
配置	複数に分かれた建物を1フロア面積の大きな建物に集約することによりレンタルが向上する。敷地を区分する区道を付替えるか、或いは区道上空を活用した1棟の建物にできないか。「ex. 虎ノ門ヒルズ」	具体的な配置や構成につきましては、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。また、基本の方針4で掲げた機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎を目指し、部署間の連携を考慮した執務空間の配置とし、同一部に属する課をできるだけ同一階に配置し、相互関連性の強い部署は、できるだけ近接した階・エリアに配置するなど職員の動線を短くし、効率的・効果的に業務が行えるよう配慮していきます。 なお、道路上部利用については、厳しい制限があり困難であると考えます。配置や構成を工夫し有効な土地利用を図るとともに必要な機能などの確保に努めてまいります。
事業計画(23件)		
事業者選定	プロポーザル方式で談合や費用の増大を防ぐことができるか？	設計者の選定にあたっては、プロポーザル方式によることとしており、発注者側の意図に柔軟に対応することが可能で、区民の意見等を十分に反映させるための区民協働の考えを取り入れた対応の提案を重視するとともに、施工面の難易度が高いことも考慮して、施工計画や工程計画等の対応能力・方策も重点評価項目とし、透明性、公開性に配慮したプロポーザルの企画検討を行ってまいります。 具体的な選定方法につきましては、今後設置する設計者審査委員会等で検討してまいります。
	設計者選定プロポーザルの要項案をパブコメ対象にする(全部でなくても可)	
	プロポーザル要綱・審査員に区民意見を!!	
	非常に力量を求められる	
	要綱に内容を記述する + 専門家の知見 2つの専門性	
スケジュール	整備スケジュールは確定していますか。	現段階では、2020年度(平成32年度)に着工できるよう取り組んでまいります。
	基本構想ありきのスケジュールのように見える	スケジュールについては、本構想に基づき想定したものとなっております。
進め方	我々が主役・住民主体の庁舎検討の精神が大事 絶対区民主体になっていない!!	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまで、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。
	若い世代の意見も聴きながらこの検討を進めるべき	
	多くの意見・提案等を具体的にどのように合意形成していくのか。	
	区民意見が十分に煮つまっていない・・・現庁舎保存について	
	1回のパブコメでは不足。このまま、案 基本構想 基本設計と進むのに反対	
	区民が何を期待しているか調査したのですか？	これまで、区民ワークショップやシンポジウム、報告会、区民説明・意見交換会やパブリックコメントの実施など、様々な手法で区民の方のご意見をいただいております。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
進め方	庁舎ユーザー：区職員/議員(議会棟)/区民(ビジター)/事業者(ビジター)それらの精査が示されていない。ユーザーの声	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまで、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。また、いただいたご意見も参考にしながら、利用者の声を精査してまいります。
	所管の責任担当部局は、(区)総務部庁舎計画担当課でよいか。区民からの問合せ窓口、及び工事進捗状況等。職員は人事異動で変わる。	本庁舎等の整備につきましては、総務部庁舎計画担当課で担当しており、今後とも、担当部署を明確にまいります。
	パブコメに寄せられた意見は全文掲載すべき。	一部修正もありますが、全文掲載させていただきます。
予算	410億円は高すぎて、一般人には理解できない	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。なお、基本構想段階における事業費については、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。
	積算根拠	
	お金がかかりすぎるとい事はありませんか。	
	公共工事の常として、後から費用が増大するケースが多いが、それを防ぐ手立は？又、どのようにして区民に情報公開を行うか。	
	ライズ 期:411億円 410億って高くない？	
	ゼロエネルギー補助金、レストラン・売店など収益床をつくる	
その他(2件)		
その他	所管がタテワリ、壁をこえて庁内で考える必要ある	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
	玉川支所も建替理念は同じか？	本庁舎と玉川総合支所の基本理念につきましては、基本的には同じであると認識しておりますが、具体的な機能等については、全く同じではありません。

【砧地域(58件)】

分類	意見・提案等	区の考え方
機能(1件)		
全般	テロにあわないようにする工夫は何か考えているか？	防犯上の安全性を確保していくこととしており、具体的な方策につきましては、今後、検討してまいります。
区民交流(2件)		
全般	区民交流、区民参加の機能とは？具体的に、だれが、どんなふうにする？	区内においては、町会・自治会やNPO、自主活動グループなど、区民による主体的な活動が区内の様々な場所で展開しております。本庁舎、総合支所、出張所・まちづくりセンターの三層構造も踏まえ、こうした多くの区民団体の情報共有、交流、そして区政への参画の場として、本庁舎等の整備を進めてまいります。
	50年親しまれたといいますが、広い世田谷区でどの位の区民が来庁したのか？	
災害対策(10件)		
全般	防災拠点としての機能を大事にして、ということは“その通り”でしっかりやっていただきたい	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えた、災害に強い庁舎を目指し、本庁舎等を整備してまいります。
	今までの地震の災害とは違う被害が起こる その想定が必要	
	工事期間中、大規模災害が発生した場合、緊急措置対策をどのように具体的に考えているのか？(最低限の応急対策は？)	災害対策本部室等の災害関連機能については、工事期間中も現敷地内に継続させなければならないとしており、本庁舎等が何時も揺るぎない防災拠点(災害対応指令基地)として機能するよう、工事期間中に大規模災害が発生する可能性も想定した工期・工程としてまいります。
	1週間ぐらいは物資が来なくなるのでは？	発災後3日間は、区及び都による区内備蓄や調達で対応し、輸送可能になると考えられる4日目以降は区外からの調達物資により対応いたします。想定避難者数以上の対応が困難なため、区民の皆様に対して1週間の備蓄を推奨してまいります。
設備	災害情報の収集システム(独自の収集方法…例:ドローン)	災害時の情報収集や情報発信に活用できるシステム等については、他自治体における先進事例などやいただいたご意見も参考にしながら、様々な可能性について検討してまいります。
場所・動線	経路となる道路が脆弱 大丈夫なのか？	本庁舎周辺においては、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。また、災害時に、本庁舎が孤立した要塞とならないように、特定緊急輸送道路などとの関係を踏まえ、周辺とのネットワークや周辺の街づくりも視野に入れた整備を進めてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
場所・動線	馬事公苑など、他の場所ではダメなの？ 雨にぬれない事が大事	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。また、区役所に避難してきた区民を広域避難場所である隣接した国土館大学に案内するためにも、一定の一時の滞留所が必要であり、広場機能は、非常に重要であります。一方、物資集積については、世田谷区民会館は、世田谷地域(5地域のうちの1つ)の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点となっており、ここから遅滞なく、地域の避難所に物資等を搬送していきます。災害時に求められるこのような機能が十分発揮できるよう、今後整備を進めてまいります。
	災害時の区民の集合はどの位のエリアを考えているか。物流の対応(物資)	災害発生時には、一時的に避難する住民と他の区域から避難される住民を合わせ、2,000名ほどを想定していますが、あくまで一時的なものであり、基本的には、広域避難場所である国土館大学へ誘導することになると考えております。物資集積について、国土館大学及び大蔵第二運動場が地域内輸送拠点となっており、そこから各地域の物資集積地(各総合支所管内の区民会館)へ配送されていきます。そこで、各総合支所で仕分けされたものが、地域内の避難所へ配送されていくこととなります。世田谷地域の物資集積地が世田谷区民会館となっております。
分散	災害救援物資の集中化は疑問?(分散化すべき)	物資集積について、国土館大学及び大蔵第二運動場が地域内輸送拠点となっており、そこから各地域の物資集積地(各総合支所管内の区民会館)へ配送されていきます。そこで、各総合支所で仕分けされたものが、地域内の避難所へ配送されていくこととなります。世田谷地域の物資集積地が世田谷区民会館となっております。
その他	災害時の国土館大学との連携について、大学との具体的な話は進んでいるのか？	平成28年7月に国土館大学とは災害時の避難施設や物資集積場所、ボランティア活動の拠点の使用について協力協定を締結しています。
議会(1件)		
全般	議会機能に関して検討委員会で議論されていない。いつどこで誰がチェックするのか。	具体的な議会機能等については、今後、区議会地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会等の議論を踏まえ、検討してまいります。議会機能に限らず、今後も、それぞれの段階で、区民等のご意見を伺ってまいります。
環境(2件)		
全般	建設時の環境配慮について、環境影響調査の方法やスケジュールは？	本事業は、環境影響評価法等(国・東京都)に基づく対象事業の規模とはなりません、区の環境配慮制度の対象となります。
	アセスの対象外となったとき、どこまで検討する？	必要な手続き等を適切に行い、制度の主旨を踏まえ、環境負荷の低減や公害の防止、環境保全・回復及び創出に努めてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
区民会館(6件)		
全般	区民会館：基本設計の場に利用者団体の意見要望を聞く機会をつくってほしい。	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、必要に応じて専門家の助言をいただくほか、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。
	工事期間中に区民会館が使用できない。この間の催物はどこで開催できますか？(他区に依頼はしてもらえますか。)	世田谷区民会館については、工事期間中に使用できない期間が生じます。今後、休館期間の短縮等について検討するとともに、代替手法についても検討していくこととしています。現段階では、具体的な対応については検討中です。いずれにせよ、ご不便をおかけすることになりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。
	多目的ホールにしたら音響効果どうなるの？	多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。
音楽ホール	文化・芸術を発信していく拠点なのでは？しっかりとした音楽ホール必要。	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。
	区民会館について：客席が稼働式では良質な音響効果が得られないのではないかと。固定式にしてほしい。	多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。
	区民会館について：客席800～1000席の内、可動式の席は何席となるのか。	

分類	意見・提案等	区の考え方
規模(5件)		
規模	本庁職員数:現状数のままなの？	職員数については、地域行政を一層展開する観点(減要素)と、新たな政策展開、自治権拡充の観点(増要素)を総合的に考慮し、平成28年度当初の本庁舎及び関連施設に配置されている職員数を基本に規模を想定しております。 また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。 今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。
	質問:(概要)P.7 想定の区民人口89万人、職員2,831人とした根拠は？	人口については、今後、平成52年に100万人を超えるという推計がある一方、85万人を下回るとい推計もあり、規模の算定にあたっては、現在の人口規模89万人を前提とします。 職員数については、地域行政を一層展開する観点(減要素)と、新たな政策展開、自治権拡充の観点(増要素)を総合的に考慮し、平成28年度当初の本庁舎及び関連施設に配置されている職員数を基本に規模を想定しております。
	質問:(概要)P.7にある地方債基準とは？	地方債基準とは、総務省が定める「地方債同意等基準」における庁舎建設における標準面積の考え方であり、職層ごとの人数をもとに、事務室面積や倉庫面積、会議室面積等を算出し、庁舎面積を導きだすものです。平成23年に標準面積の考え方は廃止されましたが、庁舎の規模を算定する際の指標として、一般的に用いられています。 なお、今回お示した面積については、世田谷区の実態を踏まえ、基準を補正して算定することにより、基準どおりの算定よりも、10,000㎡以上面積を縮小しております。
働き方	豊島区:19㎡・会議にタブレット、紙60%削減 結果30%、世田谷もやらないといけない	ペーパーレス化への取組みを推進し、文書の徹底した電子化により文書保管量のスリム化を図るなどしたうえで、必要な保管スペースを確保してまいります。
	働き方の改革、文書のスリム化の進め方の基本構想を知りたい(在宅とかデータ化)	ペーパーレス化への取組みを推進し、文書の徹底した電子化により文書保管量のスリム化を図るなどしたうえで、必要な保管スペースを確保してまいります。 なお、具体的な内容につきましては、今後、いただいたご意見も参考にしながら、検討を進めてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
地域行政(3件)		
支所充実	なるべく機能分散するべき、支所に分散	<p>世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。</p> <p>本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。</p> <p>今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。</p> <p>こうした地域行政の理念、新たな政策展開や自治権拡充の観点を総合的に勘案し、本庁舎規模を想定したところです。</p>
世田谷支所	<p>世田谷総合支所を何故三軒茶屋への移転がだめになってしまったのか</p> <p>総合支所って：・世田谷地域の人が利用するところですか？/・出張所(まちづくり・・・)へ行く機会もほとんどないし、まして総合支所とやらへ行く用事もないものだから・・・/・三茶へ移すとかいう案はなかったことになったのですか？</p>	<p>世田谷総合支所については、区民の利便性向上の観点から、交通至便な三軒茶屋を候補地として、移転整備に向けて、適地を有する事業者と協議を重ねてまいりましたが、その実現には、コストや人員面で課題が大きいことから、世田谷総合支所は、現在の本庁舎敷地内に整備することとしました。</p>
場所(1件)		
交通アクセス	バスの転回スペースについては、あらかじめバス会社からヒアリングし、必要な広さを確認した方がよいのでは？	<p>路線バスについては、現在の路線と同数である降車場1、乗車場3の計4台分の大型バス用のバスベイを東側道路(世区街5号)に沿って配置することとしております。検討にあたっては、バス事業者と協議しながら進めてまいります。</p>
敷地利用(5件)		
敷地利用	限られた予算で効率的な建設を進めるため、仮設庁舎を必要としない建設計画とすべきでは。	<p>本庁舎等の整備にあたっては、敷地内で機能を継続させながら工事を進めていく必要があります。区役所の機能を維持しながら、近隣への影響を最小限に抑え、段階的な工事を安全かつ円滑に行うとともに、工期短縮につながるよう、区役所周辺において、可能な範囲で仮設庁舎や駐車場として活用できる用地等の確保を行ってまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の方考え方
道路	区道は廃止するのか、ボリュームは？	道路を廃止した場合、日影規制や容積率を敷地一体で考えることができます。敷地が一体となり設計の自由度が高まるなどの効果がある反面、配置計画によっては平均地盤面により、東側敷地の日影規制が実質厳しくなるなどの面もあります。また、廃止する場合、近隣住民の理解が不可欠であることや都市計画の変更等による手続きに時間を要することから、事業スケジュールが数年延長される可能性があります。これらのことを踏まえ、今後、検討を深めてまいります。廃道が困難である場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。
	東西の敷地を分断している区道を廃止して敷地を一体化する。設計の自由度が増す。	
	限られた敷地を一体的に活用するために、敷地中央の区道は廃道を前提に計画を考えるべきでは。	
	中央区道の廃道(又は車を通さない)は基本構想段階で決めるべき	
建物(9件)		
全般	改修によってどの位もつのか？	コンクリート造の建物の物理的な寿命については、様々な議論があり、一概には言えませんが、一般的には65年程度と言われております。しかし、適切なメンテナンスを行うことで、さらなる長寿命化も可能だと認識しております。いずれにしましても、本庁舎等においては、求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承など、総合的に検討してまいります。
	第一庁舎が日影規制で不適合建築物になっているが天空率で検討したか？	日影規制の既存不適合については、既存建物が一定の基準を満足する場合に建築審査会の同意を得て許可をすることができる制度がありますが、原則的には不適合部分を是正する必要があると認識しております。
	建築審査会で検討して欲しい。	

分類	意見・提案等	区の考え方	
保存	今あるものをどう活かしていくのか？という意識が低い。	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>	
	第一・二・区民会館は大規模耐震改修して保存し、区民の記憶の継承を孫の代、その先の子の代まで使い続ける思想。		
	世田谷区民会館・区庁舎の保存・改修案に関する検討委員会と区議会でのデータの共通理解がオープンになっていないのでは？	<p>本庁舎等整備基本構想検討委員会での検討状況につきましては、その都度、区議会の地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会へ報告してまいりました。また、区議会における意見につきましても、検討委員会へ報告しながら、進めてまいりました。</p> <p>また、検討委員会の資料につきましては、すべて、区のホームページにて公開しております。</p>	
高さ	現庁舎は高台にありますよね。地盤は堅固なのだと思うけれど、高層にはしないでいただきたい。	<p>建物の高さについては、周辺の建物の高さも踏まえ、周辺環境との調和に配慮したものとします。なお、圧迫感などに配慮した配置にするとともに、中高層部のセットバックによる圧迫感の抑制などの工夫を施すこととしており、具体的な配置や高さについては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。</p>	
	できるだけ低く		
	まわりと調和する		

分類	意見・提案等	区の考え方
事業計画(12件)		
事業者選定	プロポーザル用の設計条件は？	設計者の選定にあたっては、プロポーザル方式によることとしており、発注者側の意図に柔軟に対応することが可能で、区民の意見等を十分に反映させるための区民協働の考えを取り入れた対応の提案を重視するとともに、施工面の難易度が高いことも考慮して、施工計画や工程計画等の対応能力・方策も重点評価項目とし、透明性、公開性に配慮したプロポーザルの企画検討を行ってまいります。 具体的な選定方法につきましては、今後設置する設計者審査委員会等で検討してまいります。
	学識経験者の中に防災関連専門が要である	設計者選定にあたっては、基本構想で示す求められる各機能について、建築のみならず、施工計画や防災、環境、ランドスケープなど、それぞれの専門的見地から総合的、客観的に評価していただける委員構成とする必要があると考えております。 具体的な委員構成につきましては、今後、検討してまいります。
	プロポーザルの審査委員はどのように選ぶのか、何人になるのか？	
	建築設計、建設、ランドスケープなど、他分野の人に入ってもらいたいと思う。	
	音響について、バックヤードなどわかる設計の人に入ってもらいたい。	
有識者、名前は明かせないのか？少なくとも専門分野は知りたい。		
事業方式	基本設計・実施設計をわけても良いのでは？	発注単位につきましては、いただいたご意見も参考にしながら、さらに検討を深めてまいります。
スケジュール	工期5年は延長される可能性はないか。工事チェックはどの部局が担当するか？	いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、なるべく早く災害対策機能を強化した庁舎となるよう、今後、基本構想の中でお示したスケジュールに基づき、着実に取り組んでまいります。また、工事につきましても、可能な限り2期工事、5年程度で終了するよう、民間の技術も活用しながら、工期短縮に向けて様々な手法を検討してまいります。
進め方	基本構想がまとまった段階で区民説明会が開かれるのか。	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまで、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。
	12月まで広聴対応するが、最終確定後の区民説明、参加の手段	
	2016年12月に基本構想を発(公)表したら、(2017年)3月頃にある区議会で審議するのですか？	11月に基本構想(案)としてまとめ、第4回区議会定例会でご議論いただき、それらの議論を踏まえ、12月に基本構想を策定してまいります。
予算	財調は？	今後、総事業費の確定段階において、算定に向けた都との協議を進めてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
その他(1件)		
その他	平和の灯(世田谷公園)本庁へ	現在、平和の灯を設置しています世田谷公園には、平和資料館をはじめ、平和の祈り像や被爆二世の木(柿とアオギリの2本)があり、平和に関するモニュメントを集積しています。平和都市宣言の趣旨を今後とも広く区民の皆さんに引き継いでいただくために、平和の灯については、世田谷公園に設置することにより相乗的な効果があると考えています。なお、いただいたご意見も参考にしながら、今後の事業の改善の参考とさせていただきます。

【烏山地域(78件)】

分類	意見・提案等	区の考え方
全般(9件)		
全般	業務と人間と機械、ロボット、IT等との関係が不明	将来を見据えた行政組織改革のあり方を踏まえ、基礎的自治体の事業展開にふさわしい、機能的・効率的で柔軟性の高い計画としてまいります。同時に、新たな時代に適した職員の働き方の改革にもあわせて取り組んでまいります。
	欧米のオフィスと区のオフィスは全く異なる・・・改めないのか、オフィスのあり方が検討されていない	
	将来の区政、組織が不明、仕事も不明	
	将来の区の仕事をつまえて考える	
	将来像はどうなっているのか、それに合わせた設計	
	本庁舎建築時に、50年、100年の計画がなかったのはいかがなことか、反省がない。	
	建物建築等の電子行政に関する検討なし 質問も封じた	
	区政の電子化は～2045年までに大巾に進む その前提で考えること	
区と区民との関係は電子化が基本だが、その建物のあり方が抜けている		
災害対策(4件)		
全般	先ず自然災害対応を考えること(建物はあと)、大地震がおこれば消防車も全くなりない	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えた、災害に強い庁舎を目指し、本庁舎等を整備してまいります。
	ITを駆使すれば、自然災害の対策は可能(分散、インターネット、利用)	災害対策本部については、本部長、副本部長を中心とした災対各部と5つの総合支所に設置する災対地域本部、27まちづくりセンターに設置する拠点隊で構成されます。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めることとしています。
	仮設のときの災害対策は大丈夫？	災害対策本部室等の災害関連機能については、工事期間中も現敷地内に継続させなければならないとしており、本庁舎等が何時も揺るぎない防災拠点(災害対応指令基地)として機能するよう、工事期間中に大規模災害が発生する可能性も想定した工期・工程としてまいります。
設備	コンピューターのバックアップ、クラウド	サーバーの仮想化やクラウド化により、必要なスペースは減少傾向にあることも踏まえ、災害時のバックアップ機能を果たすためのサーバー室などを、事務センターとは別に本庁舎内に設けます。

分類	意見・提案等	区の考え方
区民利用(2件)		
施設	本庁舎:区民交流スペースの拡充として、憩いの場としての、例えばお茶を飲める場所をつくってほしい。	基本的方針1で掲げた「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を目指し、区民に親しまれる庁舎を目指してまいります。なお、具体的な区民の利用スペース等の内容については、いただいたご意見も参考にしながら、必要な規模、コストなどを考慮し、今後、詳細を検討してまいります。
	庁舎まわりの飲食が弱い 行きたいと思える場所	
区民会館(4件)		
音楽ホール	音楽ホールの整備を早くして下さい。(新しくしてほしい)	区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。
	区民会館:区民合唱団として活動させてもらっているが、フルオケの演奏が出来るホールの整備	
	音楽専用のホールが欲しい	
	区民会館:楽屋スペースの充実/アップライトピアノ/キーボードの設置/団員(150人規模)の使用可能スペース	
規模(7件)		
規模	職員1人当たり面積は18.7㎡というが、23区平均の8割は狭い。より有能な人材を確保し、仕事の能率向上を計り、今後の時代の変化に柔軟な対応を行えるように余裕を持たせるべき。	職員一人あたり面積は、23区平均の23.5㎡を下回っております。23区の中でもコンパクトな面積となっており、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。
	広い作業スペース 有能な人材確保/効率的/時代への対応、同じことをくり返さないためにも。 必要な規模は確保すべき(余裕をもって)	
	グラフ 人口動たいをふまえて検討すべき ex)60年後の人口	人口については、今後、平成52年に100万人を超えるという推計がある一方、85万人を下回るという推計もあり、規模の算定にあたっては、現在の人口規模89万人を前提とします。また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。
	高情報化、人口減少 適正規模か？	

分類	意見・提案等	区の考え方
規模	高情報化(インターネットの活用)によって対面が不要な行政サービスも増え、又、職員の減も考えられると思います。想定規模が過大ではないか、疑問です。	職員数については、地域行政を一層展開する観点(減要素)と、新たな政策展開、自治権拡充の観点(増要素)を総合的に考慮し、平成28年度当初の本庁舎及び関連施設に配置されている職員数を基本に規模を想定しております。 また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。 今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。
働き方	仕事の改かく必要 電子化	ペーパーレス化への取組みを推進し、文書の徹底した電子化により文書保管量のスリム化を図るなどしたうえで、必要な保管スペースを確保してまいります。
	必ずしも1人1席じゃなくても良いじゃないか。	いただいたご意見も参考にしながら、今後、働き方の改革に向け、検討を進めてまいります。
地域行政(7件)		
支所充実	協働、交流 支所で充実させる方で良いのでは？	区内においては、町会・自治会やNPO、自主活動グループなど、区民による主体的な活動が区内の様々な場所で展開しております。本庁舎、総合支所、出張所・まちづくりセンターの三層構造も踏まえ、こうした多くの区民団体の情報共有、交流、そして区政への参画の場として、本庁舎等の整備を進めてまいります。
	支所も充実してほしい。	世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。
	とにかく烏山からは遠い、総合支所を充実させるようにして、本庁舎はあまり大きくする必要はないと思う。	本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。
	総合支所などへの機能移転をすすめ、本庁舎の収容量を減らす。	今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。
	支所から土木もいない。	こうした地域行政の理念、新たな政策展開や自治権拡充の観点を総合的に勘案し、本庁舎規模を想定したところ です。
	みじかな区役所の充実、なるべく支所ですむように、分散化	

分類	意見・提案等	区の考え方
場所(1件)		
場所	遠すぎる。不便	<p>本庁舎の場所については、平成21年にいただいた本庁舎等整備審議会答申において、「場所については、歴史的な経緯等から現在の敷地が望ましい。しかし、交通の利便性等から移転の可能性について、今後、検討が必要である。」とされたのを受け、さらに、移転の可能性について、交通の利便性、周辺環境との調和、災害対策本部としての適性等の観点から検討してきましたが、用地取得や用途地域等の関係で、現在地以外に望ましい場所を見出すことはできず、現在地とすることとしました。</p> <p>なお、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。</p>
敷地利用(5件)		
敷地利用	現敷地でMAXどれくらい建つ？	現在の敷地面積が約21,707㎡で、容積率300%であるため、約65,000㎡は建設可能ですが、建物の配置などにより、確保可能な面積は異なってまいります。
	10年の間に土地を拓げる努力をしてきたのか？少しずつ買ってあげば…。	<p>現敷地内で、求めている規模の庁舎は建設可能です。</p> <p>補助154号線の整備により、動線も新たな視点から検討することが可能となっていることから、敷地西側の利用も視野に入れアプローチの位置等について計画することとしており、現在の西側敷地と補助154号線のアクセスについては、敷地の拡張も視野に入れながら検討してまいります。</p>
	解体、工事中の執務はどこで	本庁舎等の整備にあたっては、敷地内で機能を継続させながら工事を進めていく必要があります。区役所の機能を維持しながら、近隣への影響を最小限に抑え、段階的な工事を安全かつ円滑に行うとともに、工期短縮につながるよう、区役所周辺において、可能な範囲で仮設庁舎や駐車場として活用できる用地等の確保を行ってまいります。
道路	区道のあつかいを全体計画で変えられないか？	道路を廃止した場合、日影規制や容積率を敷地一体で考えることができます。敷地が一体となり設計の自由度が高まるなどの効果がある反面、配置計画によっては平均地盤面により、東側敷地の日影規制が実質厳しくなるなどの面もあります。また、廃止する場合、近隣住民の理解が不可欠であることや都市計画の変更等による手続きに時間を要することから、事業スケジュールが数年延長される可能性があります。これらのことを踏まえ、今後、検討を深めてまいります。廃道が困難である場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
道路	国土館大学への避難路として必要	ご指摘のとおり、敷地中央の区道については、地区計画において、災害時には避難路や延焼を防ぐ道路として、地区防災施設6号に指定されております。このことも踏まえ、今後、検討を深めてまいります。
建物(25件)		
全般	機能的なことが一番	<p>現在策定を進めております「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、区民自治と交流や災害対策の拠点としての庁舎や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価し、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。</p> <p>本庁舎は、災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすため、本庁舎のすべてのフロアにおいて、大規模災害直後でも業務継続が可能な庁舎へと機能強化を図る必要があります。いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、なるべく早く災害対策機能を強化した庁舎となるよう、今後、基本構想の中でお示したスケジュールに基づき、着実に取り組んでまいります。</p> <p>また、庁舎が多くの建物に分散されており、行政事務機能の非効率化を招くとともに、区民や事業者にとって分かりづらい庁舎となっているため、整備にあたっては、本庁舎敷地外にある本庁舎関連施設について、原則、本庁舎へ集約することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>なお、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保と最も合理的な事業計画(コスト削減、工期短縮等)が可能であれば、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>限られた予算の中で、施設の維持管理に努めているところですが、第1庁舎、世田谷区民会館は築50年以上経過しており、躯体や外装・内装の劣化が進むとともに、省エネルギーやバリアフリー化等への対応を考える必要がある状況となっています。</p>
	箱物行政ではなく、機能(業務)本位であるべき	
	上質なものを作るならしっかりお金をかけて作った方が良い。	
	建築ありきは、都の市場のようになることを危ぶむ	
	世田谷だと思える庁舎をつくってほしい	
	シャンゼリゼ通り…景観に配慮して、お金はかかるけど	
	一気に建替しない方法は？	
	全部の建物をいっせいにする必要はないのではないか？	
前川建築は残すの？		
現庁舎設計者：前川國男さんのデザインをどう残すのか？全く残さないのか？明確に。		
今の庁舎を大事に使ってこなかった、区民も職員も		

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	老朽化というが具体的説明を。	第1庁舎、世田谷区民会館は築50年以上経過しており、躯体や外装・内装の劣化が進むとともに、省エネルギーやバリアフリー化等への対応を考える必要がある状況となっています。
改築	建替で対応できないの？	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
空間特質	文化を継承していく建物にしていくべき	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
		<p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
空間特質	愛着を育む建物・・・ex) 弘前、高崎 「文化」を前面に、世田谷区がいうべき。	同上
保存	前川國男のデザイン・構想をどう生かすか？(残したい)	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
	ホールを保存すること(案) 震度7に耐えられるのか？不安。	
	今の技術で再生できないか、大きなホールは必要ない、耐震化、設備更新	
	既存の建物を保存しながら新たな計画	
改修	できれば前川建築を残してほしい 愛着を育む/付加価値を生む 現庁舎を耐震化するという方法は？	

分類	意見・提案等	区の考え方
		<p>調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
配置	配置イメージ:既存建物が参考図になっているのは?	配置イメージについては、本庁舎等整備基本構想検討委員会において、必要床面積を含む諸条件の実現可能性を検証するために示した参考資料をそのまま添付したものです。なお、具体的な計画案や設計案ではありません。
	参考案でなく検討案ではないのか?出すのであれば6案併記のはずでは?	
	建物の構造は可能な限り縦に高いより、横に広がる、つまりワンフロアの面積が広いように検討していただきたい。	具体的な配置や構成につきましては、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。また、基本の方針4で掲げた機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎を目指し、部署間の連携を考慮した執務空間の配置とし、同一部に属する課をできるだけ同一階に配置し、相互関連性の強い部署は、できるだけ近接した階・エリアに配置するなど職員の動線を短くし、効率的・効果的に業務が行えるよう配慮してまいります。
	効率的な移動できるように(機能として)	
事業計画(11件)		
事業者選定	高層はゼネコンしかできない、中層は小規模	建物の高さについては、周辺の建物の高さも踏まえ、周辺環境との調和に配慮したものとします。なお、圧迫感などに配慮した配置にするとともに、中高層部のセットバックによる圧迫感の抑制などの工夫を施すこととしており、具体的な配置や高さについては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。事業者の選定にあたっては、透明性・客観性の確保、区民・区議会の意向の反映、地域経済への配慮などを総合的に考慮し、検討してまいります。
進め方	みんなが納得できるプロセス	本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまで、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。
	設計の過程を区民に説明、理解を得ながらまとめて欲しい。	

分類	意見・提案等	区の考え方
進め方	建て替え後、直ぐに次の検討を始めるべき…交通の便など…	いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
	次の建替えの検討は今回建設した時から始めるべき。土地やお金の問題は短期では難しい。今の場所は最適とは言えず、不便。	
予算	費用について、410億円予算内で果たして済むのでしょうか？	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。なお、基本構想段階における事業費については、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。
	一般財源52億が区民生活への影響について	
	建設費の高騰をいかに抑えるか、その方策は？	
	建設コストの算出手順を明確に	
	国立競技場や豊洲市場の様に、想定建設費の見当違いが社会的問題になっています。今回の想定建設費の根拠を明確にしていきたい。	
一般的な庁舎建設費用単価 段階的なチェックは必要…56万円/m ²		
その他(3件)		
その他	この説明会の日程が区民に知らせている？徹底されていないのではないか。	区のおしらせ特集号、区ホームページ、周知用チラシ(出張所・まちづくりセンター備え置き)、FMせたがや、ツイッター、メールマガジンなどにより、周知してまいりました。今後も、いただいたご意見を真摯に受けとめ、周知徹底してまいります。
	本会合に関する質問は封じられている 問題外…9/17に経験	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
	私が本件に関する質問を出しても、区からまともな回答はない…職員が劣悪である	